

団体戦、個人戦で活躍し 全国大会出場

〜中山中柔道部女子〜

7月24・25日の2日間行われた県中学校総体柔道の部団体戦で中山中学校柔道部女子が優勝。個人戦でも2年の圓岡穂乃果さんと中川リカさんが各級で優勝し、全国中学校柔道大会（8月19日〜21日、松江市）への出場権を獲得しました。また全国大会に先駆けて行われた中国地区中学校柔道大会では、圓岡さんが44kg級で3位入賞を果たしました。全国大会では、それぞれが健闘しましたが、全国の壁は厚く、惜しくも初戦敗退となりました。

選手たちは「全員1、2年生のチームなので、横断幕を作っていたいただいたPTAの皆さんや多くの方の応援に心から感謝して、来年度に向けてさらに練習に励んでいきます」と再チャレンジを誓いました。



▲全国大会に出場した（左から）中川リカさん、大場智加さん、林原悠さん、圓岡穂乃果さん、顧問の森田教諭

楽しくて、充実した交流

〜中学生テメキュラ市訪問記〜

①

大山町の姉妹都市、米国テメキュラ市を町内3校の中学生7人が訪問しました。

7月27日から8月5日までの10日間、生徒たちはホームステイをしながら、中山中学校の姉妹校マルガリータ・ミドル・スクールなどを訪問しました。

これから数回に分けて、生徒の感想の一部を紹介します。

ハイテンションで楽しく

中山中 3年 江原紗希

今回、この研修に参加して、たくさんを経験できました。ナッツベリーファームでは、本当にアメリカ人はテンションが高くて、楽しい人ばかりだなあと感じました。そして、アメリカ人の何にでも挑戦していく姿には驚きました。とても怖そうなアトラクションにも、どんどん乗っていました。ホストファミリーの近所の方たちが



▲ホストファミリーのアレックス（右上）、ジャック（右下）、アンナ（中央下）と一緒に

料理を持ち寄り集まった「ポットラックパーティー」に参加しました。その近所の子どもたちとも仲良くなって、真つ暗になるまで、外で鬼ごっこやかくれんぼをしました。もつと、日本でもこういう行事に力を入れて楽しめばいいのと思いました。うらやましいとも思いました。

ホストファミリーの人たちとは、初めはコミュニケーションが難しく、何を言われているのか理解しづらかったけど、最後には家族同士で話していることも何となくわかるようになりました。この短期間に、こんなに変わるなんて、自分でもとても驚きました。伝えようとする気持ちや理解しようとする気持ち、とても大切だということが学べました。この経験や学びを今後も活かしたいし、参加できてとてもよかったと思います。すべての方々に感謝したいです。

ホームステイinアメリカ

名和中 2年 桑本みのり

たくさんの方の事前学習を終えたあと、家族や先生方に見送られて飛行機に乗り、外国人ばかりのロサンゼルス空港に着きました。

その夜、ホストファミリーのお母さんのホープとバディー学生のガブリエラと出会い、家に向かう車の中で「何



▲ホストファミリーのマッジオさん一家と

時間かかって来たの？」「楽しみ？」とか聞かれたけど、私は緊張して聞いて聞き取れませんでした。ずっと緊張していると言ったら笑われました。

ホストファミリーと過ごすファミリーファンデーには、ボーリングとビーチへ行きました。ビーチには人が多く、とても広くて、端から端まで歩けません。アメリカの海水は少し塩辛く、鼻に水が入ったときは日本の海以上に痛くて、そこからは海に入るのをやめて、砂で遊んでいました。また最後の日に、ショッピングモールへ行つて、朝から夕方まで買い物をし、お母さんにコーディネートしてもらって服や靴を買ったりしました。

本当にあつという間の10日間でした。そして内容の濃い研修でした。まさか自分が行けると思っていなかったアメリカへ行けて、本当にうれしく思います。この出会いを大切に、自分の近い将来の夢に向かって頑張りたいと思います。